

現場活動

状況評価

感染防御

携行資器材確認

現場の安全確認・二次災害防止

傷病者の数

受傷機転確認

応援隊の要請

高エネルギー事故

ロード&ゴー?

初期評価 (生理学的評価)

頸椎固定: 呼びかけと同時か前に

意識: JCS何桁?

気道: 発声? 狭窄音・ゴロゴロ音の有無

呼吸: 見て、聞いて、感じる(有無・速さ・深さ)

循環: 脈(強さ、速さ) 皮膚の色調・冷汗・湿潤 活動性外出血

気道確保
吸引
酸素投与
補助換気
止血

意識障害
気道の異常
呼吸の異常
循環の異常

CPA、気道管理困難ならば以下の観察中断
即ロード&ゴー

ロード&ゴー?

全身観察 (解剖学的評価)

頭部・顔面: 明らかな外表の損傷(サッと視診+触診)

頸部: 明らかな外表の損傷、腫脹、変形(視診、触診)

気管偏位・頸静脈の怒張・皮下気腫・後頸部の圧痛

ヘルメットの着用があればサッと頸部の確認

胸部: 明らかな外表の損傷 胸郭の変形・圧痛、左右差

奇異呼吸 腹式呼吸 呼吸音の左右差

腹部: 明らかな外表の損傷 膨隆・腹壁の緊張・圧痛

骨盤: 明らかな外表の損傷 圧痛 動揺(圧迫は1回だけ!)

大腿: 明らかな外表の損傷 変形 腫脹 圧痛 動揺

四肢: 明らかな外傷があるかサッと簡潔にみる

神経学的所見(手足を動かせるか? 感覚は?)

背面: 明らかな外表の損傷 圧痛 変形

ネックカラー
三辺テーピング
フレイル固定
穿通性異物固定
腸管脱出

心タンポナーデ
気道閉塞
フレイル chests
開放性気胸
緊張性気胸
大量血胸
腹腔内出血
骨盤骨折
両大腿骨骨折
生命にかかわる損傷
重症そうな印象

ロード&ゴー?

車内活動

1. 酸素切り替え、モニター装着、バイタル測定を指示、保温

2. 病院連絡(要点をまとめ手短かに)

年齢・性別・受傷機転・ロード&ゴーの理由・到着予定時間

(初期評価の結果と行った処置を加えてもよい)

*ロード&ゴーでない場合は詳細観察後でよい

3. バイタルサイン等の確認

(モニター装着) 脈拍数、呼吸数、血圧、SpO₂、心電図

意識レベル再評価 (JCS 1 2 3, ……300?)

4. 患者から聴取(SAMPLE/GUMBA)

1. 受傷機転 2. 主訴 3. 最終食事時間 4. 既往歴 5. アレルギー

5. 保温、その他の処置

継続観察 病院到着まで繰り返し観察

1. 自覚症状の変化
2. 意識・気道・呼吸・循環・瞳孔(神経学的所見)
3. 頸部～腹部までの観察
4. みつかった創傷の変化
5. 行った処置の確認

(詳細観察) 頭からつま先までより細かく診る

1. ABCの再評価
2. 顔の全ての穴をみる
3. 上肢や下腿部も確認する、骨折部の末梢で脈拍もチェック
4. 骨盤の確認は 全身観察で行っているのでやらない
5. 神経学的所見

瞳孔所見 : 左右差、対光反射、眼球の向き

運動機能 : 手足の指が動くか?

感覚機能 : 手足の先に触れているのがわかるか?

第1報で重要な内容“MIST”

M: Mechanism=受傷機転

I: Injury=(主たる)損傷

S: Sign=(ショック状態他、L&Gの適応となるような)徴候

T: Treatment=(行った緊急・蘇生)処置

容体変化があれば
ABCをチェック!

創傷の処置

骨折の固定

第二報病院連絡

詳細バイタル・詳細観察にて得た所見・傷病者の変化等